

都市基盤・生活環境整備

のための施策

交通渋滞緩和に積極的な取組み

当市にとって最大の都市環境をめぐめる問題としては、なんといっても交通渋滞の問題であります。将来における道路交通体系の展望は、ほぼ都市計画として決定しておりますが、上越新幹線の開通や大型店進出による都市間競争の激化と商業環境の変化、あるいは能代川分流による東西分断、東北横断自動車道計画、十萬都市建設構想などの関連で、見直しについて十分配慮していく必要がありますが、いずれも道路一本の建設にしても莫大な経費を伴うものですから、現実には遅々として進んでいないのはまことに残念であります。しかし、ようやく待望久しかった新潟・新津バイパスは今年四月開通の運びとなり、いま最後の仕上げ工事が行われていることはご承知のとおりであります。

れによりまして、交通渋滞も少しは緩和されるでありますが、率直にいつてこれらがむしろ問題であります。従って、これを三条・新津バイパスに接続延長するため、当面、古田地点から市民会館裏までの約八百メートルの区間を五十七年度までに完工させ、程島農道に接続できるように努力いたします。これにつきましては、幸い国の事業費もついており、関係地権者のご協力も得て用地買収に大方の目途が立っている状況であります。また、三条・新津バイパスの国道昇格も合わせて運動を続けて参りたいと存じます。

一方、五泉・新発田方面についての対策としては、新潟・新津バイパスから分岐し、都市計画道路古田・中新田線を含むいわゆる東バイパスの建設が最大の急務ではありますが、いまのところはかばかしい進捗をみておりません。従って、これら基幹的バイパス

道路の建設促進について積極的に働きかけていくことは勿論であります。同時に、少しでも交通渋滞緩和のための対策を講ずる必要があります。現在建設途上にある広域農道を始め、小口地内と東島地区を結ぶ林道(大沢線の五十七年度開通や、県道白根・安田線の改良整備と冬期間除雪による交通確保、あるいは農道の舗装整備、市街地周辺部の道路整備、さらに主要交差点の角切りや主要道路の融雪化、駐車場の確保などによって対応していく考えであります。

ポイントになる駅前再開発事業

道路交通体系の整備の問題とともに、いまひとつ都市基盤づくりにとって必要不可欠な大きい問題として、国鉄問題があります。いかにモータリゼーションが発達しようとも、国鉄との関わりは当市にとりまして将来とも密接不可分

でありましょう。上越新幹線の開通を五十七年に控え、新津を在来線の全面基地として復活させ、近隣市町村の利用客を招致することなどによって、商業振興にも寄与していきたいと思っております。そのためには、在来現場機関の強化はもとより、貨物集約や車両の前進基地化、あるいは駅舎改築を含む駅前広場の拡張と合わせた駅周辺の再開発事業などを興して、計画的に建設を進めていくつもりであります。

市道舗装、側溝整備を計画的に

市道舗装は、前市長のもとで精力的に推進され、主要道路のほとんどが舗装化されておりますが、これからは住家連たるの細い路地や新開地の新設道路に力点を置いて舗装化を継続していくほか、側溝整備についても計画的に整備していく方針であります。

将来の水確保に第六次拡張事業

下水道につきましては、第五次拡張事業の終了によりまして、日量最大給水能力三万六千トンが確保され、今後の人口増加や下水道の供用開始、市民生活の向上などによる需要増に対処するため、六十五年度を目標とする人口想定に合わせ、日量最大給水量四万五千トンを確保するため新年度から第六次拡張事業を開始したい考えであります。また、これまで継続整備しておりました市内一円の石綿管の敷設替えや、新たな配水管網の延長などを計画的に行っていくことが、これらの事業には莫大な投資を要す

水洗化普及に援助策を用意

次に下水道事業についてであります。市街地中央部(中部地区)はいよいよ新年度から供用開始となります。この地区は、三か年間で水洗化工事を進めていたことになりましたが、初年度三〇％の普及を目指し、工事費の融資貸付けと利子補給制度を講ずることとしております。

この中部地区の供用開始に伴い、市役所庁舎を始め消防庁舎、学校保育所など市有施設は当然のことでありまして、率先水洗化工事のため所要の予算措置を講じました。一方、信濃川流域下水道関連事業として、五十五年度から一部着工いたしております西部・北上地区は、新年度から雨水処理場を含め本格的な工事を予定しております。

なお、当市が公共下水道として建設いたしました終末処理場の運転管理業務は、県並びに信濃川流域下水道新潟処理区及び新津処理区の関係市町村をもつて設立された「財団法人新潟県下水道公社」に委託して行うこととします。

秋葉公園を夢と文化の地に

公園・緑地の整備につきましては、ご存知のとおり秋葉公園を重点に、年次計画に基づき拡大整備を図っておりますが、新年度は約一万一千六百平方メートルの用地買収と少年広場・自由広場、彫刻広場などの造成を行うほか、キャンプ施設・駐車場の増設、さらに遊歩道の延長なども合わせ行い、「夢と文化」のある公園として整備していきたいと考えております。

再利用と減量運動でごみに対処

廃棄物の処理については、逐年増高するなかでとくに粗大ごみと不燃物の処理が問題であります。大開地内にある処分場はこのほど満杯となり覆土いたします。これに伴い、新年度からは市之瀬処分場を利用することになりますが、破碎機や圧縮機などによる前処理を行っても五・六年しか耐用できず、近年中にはまた新たな処分場を確保する必要に迫られる状況になります。従って、市としても積極的な努力をいたしますが、議会のみならずにおかれましては、格段のご協力をお願いし、解決策の名案をお寄せいただきたいと思います。なお、可燃物処理

能代跡地利用へ準備作業を開始

ところで、新津市から水害を根絶するため、先人の営々とした努力の積み重ねがあったところでありました。幸いにして、能代川分流の五十七年度完成による暫定通水の見通しが立っていることは誠に喜ばしい限りであります。しかし、激特事業による工期はあと二か年のみであります。いまだ一部用地買収、家屋等の移転に難航しているところがあり、鋭意努力中でありまして、

対策として脱水装置を施し、燃料費の節減に努めるほか、第二工場(し尿)についても処理施設に改良を加え、効率化を図る計画であります。しかし、廃棄物処理センター全体の施設が老朽化しつつあって、早晩、新施設の建設が必要となってきますので、その際、廃棄物処理システムの再構築について十分な検討がなされるべきになります。極力、減量運動と有価資源の再利用について市民各位の真摯なご努力とご協力を望むものであります。

お買物、ご用命は市内で

11時～2時迄
サービス・天ぷら定食…¥400
特製みそラーメンをどうぞ

食堂 まつさか ☎2-3981

秋葉山が素晴らしくなりました
団体様の弁当より、そば・丼物・一品料理
名物おでん
噴水広場の上 無料休憩所
食堂・松櫻 ☎2-0346
☎4-4972

お買物、ご用命は市内で

肌着・化粧品

資生堂チェーンストア

本町2丁目 マツヤ TEL (20418) (30630)
第四銀行が向い。北越銀行がとなり。

謡曲 いっしょに楽しみませんか?

宝生流囃託 古谷 エイ子

新津市中野274 TEL 2-2666